

「014o」表示について

装置が約2週間稼働した際に「つけ置き洗浄」を実施する必要が有ります。

①下記つけ置き洗浄手順に従って、「つけ置き洗浄」及び「014o」表示の解除を実施します。

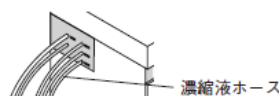
XR-5000II 濃縮釜のつけ置き洗浄手順

Ver.1.0

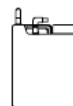
- ① 警告コード「014o」が表示されたら、「運転」スイッチを押して、運転を停止します。

再生水量 / 残り時間
014o

- ② 排出ホース（濃縮液ホース）が建屋側の廃液配管に接続されていることを確認します。
濃縮液タンク（オプション）を使用する場合は、濃縮液タンクに接続されていることを確認します。



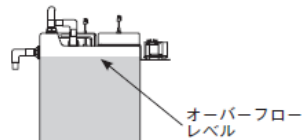
- ③ 濃縮液タンク（オプション）接続の場合は、濃縮液を排出する前に、濃縮液タンクが空であることを確認します。タンクが一杯になると、濃縮液満杯エラー（E-88）になります。



- ④ 「リセット」スイッチを長押しして（3 秒間）、濃縮液を排出します。



- ⑤ 洗浄水タンクに水（再生水）がオーバーフローレベルまであることを確認します。不足していたら、タンクに水を追加注入してください。



- ⑥ 「運転」スイッチを長押しして（3 秒間）、洗浄モードに入ります。



- ⑦ 洗浄水の吸引が開始されると、警告コード [C - - 4] が表示されます。数値がカウントダウンされます（4 → 3 → 2 → 1）。

再生水量 / 残り時間
C - - 4

- ⑧ 洗浄水の吸引が完了すると、警告コード [C - - -] または [C - - H] と、24 時間カウントダウン表示が交互に表示されます。



- ⑨ 1 分経過し、カウントダウンが開始されたら、24 時間放置します。（カウントダウンが開始されない場合は、下記「重要 3」を参照）



- ⑩ つけ置き洗浄時間が完了すると、数秒間ブザーが鳴り、ディスプレイには、直前の運転時の再生水量が表示されます。例)

再生水量 / 残り時間
例) 49

- ⑪ 洗浄水を排出する前に、濃縮液タンクが空であることを確認します。タンクが一杯になると、濃縮液満杯エラー（E-88）になります。

- ⑫ 「リセット」スイッチを長押しして（3 秒間）、洗浄水を排出します。



これで、濃縮釜のつけ置き洗浄は終了です。

- ⑬ 運転を再開する場合は、「運転」スイッチを押して、装置の運転を開始します。



重要 1： XR-5000II は、富士フイルム製サーマルプレート用現像液の廃液専用の装置です。富士フイルム製であっても他の現像液およびフィニッシングガム液の廃液は処理することはできません。また他社製の現像液の廃液は絶対に処理しないでください。装置の性能が低下し、再生水が下水排除基準に適合しません。

重要 2： つけ置き洗浄中に装置の電源を OFF にしてしまうと、警告コード「014o」発生までのタイマー時間がリセットされません。絶対に電源は OFF にしないでください。

重要 3： 手順⑧の状態でもカウントダウンしない場合は、一旦「運転」スイッチを押して装置の運転を停止し、手順⑤から再度行ってください。